

『法と哲学』

【投稿規程】

責任編集：井上達夫（東京大学名誉教授、法哲学）

編集委員：若松良樹（学習院大学教授、法哲学）、山田八千子（中央大学教授、法哲学・民法）

瀧川裕英（東京大学教授、法哲学）、児玉聰（京都大学教授、倫理学）

松元雅和（日本大学教授、政治思想史・政治哲学）

* 上記の責任編集者と編集委員から構成される編集委員会が、外部査読者の協力も得て、投稿論文の審査を行う。

(1) 応募論文

投稿できる論文は、法、または法の道徳的・政治的・社会的な背景をなす規範的問題について、哲学的考察を行う和文末発表論文です。

掲載対象論文の範囲に関する詳細は「『法と哲学』創刊にあたって」をご参照ください。

【論文の形式と提出方法】

- ① 分量は、注および図表等を含め、30,000字以内。横書きとする。
- ② 論文原稿には、著者の氏名や著者を確定できる情報は記載しない。氏名等は、投稿シートに記入し提出する。
(投稿シートのフォーマットは信山社HPよりダウンロードできる。)
- ③ 和文要旨(400字以内)およびキーワード(10個以内)を添える。
- ④ 引用文献は著者名と出版年だけで示し、完全な書誌情報は原稿末尾の引用文献リストにまとめて示す。脚注は説明注のみとし、単なる出典表示の注は本文中の該当箇所に括弧書きで挿入する。

(2) 応募書類の提出

応募者は、投稿エントリー・シート(投稿シートとは別)を6月末までに提出する。(投稿エントリー・シートのフォーマットは信山社HPよりダウンロードできる。)

その後、上記投稿書類(①～③)を、MS-WORDファイル、一太郎ファイル(原則としてA4判40字×40行)またはテキスト・ファイルにしてメール添付で提出すること。

- ・締切日：原稿は刊行前年の9月末日締切。
 - ・提出先：信山社研究雑誌編集部『法と哲学』係 <kenkyu@shinzansha.co.jp>
 - ・投稿エントリー・シートおよび上記投稿書類(①～③)提出後、それぞれ受領確認のメールが信山社より提出者に送られる。
- このメールが届かない場合は、信山社 (kenkyu@shinzansha.co.jp) に問い合わせされたい。

(3) 審査日程

原則として、刊行年の1月中旬に、応募者に結果を通知する予定。

審査結果は、「掲載可」、「掲載不可」、「補正の上掲載可」のいずれかで通知される。

(4) 掲載誌の献呈

論文の掲載誌刊行後、1冊献本する。

(5) その他の注意事項

- ・二重投稿は認められない。

- ・「掲載可」の論文数が、本誌掲載可能枠を超えた場合は、次号以降の掲載となり、「掲載順延」(次号以降掲載)の通知がなされることがある。

(2023年4月改定)